

令和5年9月25日

川崎医療福祉大学長 殿

内部質保証推進委員会

委員長 秋山 祐治

川崎医療福祉大学における自己点検・評価活動の点検・評価結果について、下記のとおり報告いたします。

記

1. 点検・評価の参考とした資料

令和4年度事業実績書、令和4年度学報

令和5年度事業計画書、令和5年度方針集、令和5年度各種委員会の業務・活動計画

2. 点検・評価結果

川崎医療福祉大学の各学科・専攻、その他組織等における自己点検・評価活動は、大学の理念、大学及び学科・専攻の教育理念・目的、教育方法のほか、3つのポリシーに沿って概ね適切な活動が実施されており、教育の質の向上に努めていると評価できる。

今年度から新たな内部質保証体制の構築に取り組み、大学全体のシステムは整えられたが、今後は教育研究活動の基本的な活動単位である各学科・専攻内におけるPDCAサイクルの具体的な実施方法を構築する必要がある。また新たな自己点検・評価のシステムが全教職員に定着するまでは随時見直しも必要である。

また、事業実績書や学報、各種委員会の業務・活動計画の作成に際しては、次年度への課題や方策を簡潔に記載すること、学科・専攻の教育成果に対して改善すべき事項を明確に示すことやその改善のための具体策を記載すること、活動計画・目標を概ね達成することができたのか否か、どういう課題が残ったのかなどを簡潔に記載することなどが望まれる。

なお、外部評価委員からは、新たな体制での諸活動の検証を行っていることや、大学・学生代表者会の開催により学生視点での点検を実施していることなどから、適切な自己点検・評価活動が推進されているとの評価をいただいている。

本結果を参考に引き続き自己点検・評価活動に取り組まれることを期待する。

以上